

事務事業マネジメントシート(平成30年度実績と平成31年度計画)

令和 2 年 1 月 9 日 更新

事務事業名		議会交際運営事業				☐ マニフェスト関連 ☐ 全庁横断課題関連 ☐ 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政 策	1	自治の健康			所属部	議会事務局	課長名	財津 公正
	施 策	2	行政改革の推進			所属課	議会事務局	担当者名	宮尾 和樹
	施策の柱	3	計画的な施策・事業の推進			所属班	議会班	(内線)	1312
予算科目		会計一般	款 1	項 1	目 1	事業連番 11022	根拠法令		
終了、開始年度		☐ 30年度で終了 ☐ 30年度から開始				事業期間	☐ 単年度のみ ☒ 単年度繰返 (開始年度 18 年度) ☐ 期間限定複数年度 (年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各種団体等へ交際費を支出し、市議会と各種団体との円滑な関係を構築している。また、視察受入時の茶菓子代を支出している。 各種団体等へのお祝等については、支出基準を市長部局と申し合わせながら、また、案内の内容等を十分検討して支出している。
【業務の流れ】	- 各種団体からの行事案内に対する議長の日程調整及び必要なものには交際費を支出する。 - 他市議会からの視察の依頼に対して、関係課との日程等の調整及び当日の研修会の進行、茶菓子の提供を行う。
【主な予算費目】	交際費、需用費（消耗品費、食糧費）
【意見や要望】	要望等は寄せられていない。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分
① 手段(主な活動) 30年度実績(30年度に行った主な活動) (DO) 各種団体からの行事案内に対する議長の日程調整及び必要なものには交際費を支出した。他市議会からの視察の依頼に対して、関係課との日程等の調整及び当日の研修会の進行、茶菓子の提供を行った。なお、九州、県の市議会議員会等の会議員負担金も本事業から支出した。(視察受入件数8件)		31年度計画(次年度に計画している主な活動) (PLAN) 平成30年度と同じ内容だが、全国市議会議長会研究フォーラムに参加予定。なお、九州市議会議長会理事は1年任期のため、平成31年度の理事会出席はなくなった。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由
→ ア 全国の自治体数	団体	平成30年度が九州市議会議長会理事であったため出席に伴う負担金の減。過去実績による視察来庁時菓子・お茶の食糧費の減。
→ イ 市民	人	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	(単位)
議会(議長)	→ ア 市議会数	団体
	→ イ	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	(単位)
教育、学術、スポーツ、文化、福祉などの向上に寄与すべく活動している団体や他自治体との円滑な関係を構築する。	→ ア 交際費の支出件数	件
	→ イ 視察受け入れ件数	件
*③成果指標設定の理由と31年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
市議会と各種団体や他自治体との円滑な関係を構築することを目的として支出しているため設定した。目標値は、毎年支出している件数等を考慮し設定した。		全体計画
		～ 年度
		0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	28年度 実績(決算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	30年度 実績(決算)	31年度 目標(当初予算)	2年度 予定	3年度 見込	4年度 見込
投 入 費 量	財 源	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円	288	279	471	332	440	473	473
		(A) 事業費計	千円	288	279	471	332	440	473	473
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	5	5	3	5	3	3	3
	人 件 費	延べ業務時間	時間	430	472	270	490	270	270	270
		(B) 人件費計	千円	0	1,867	1,075	1,931	1,075	1,075	1,075
		トータルコスト(A)+(B)	千円	288	2,146	1,546	2,263	1,515	1,508	1,548

事務事業名	議会交際運営事業	所属部	議会事務局	所属課	議会事務局
-------	----------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部（CHECK）

*原則は30年度的事後評価、ただし複数年度事業は30年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①30年度目標達成度評価	☐ 達成した ☒ 達成しなかった ⇒【原因】 本年度は交際費支出する案内行事が少なかった。
	②31年度目標達成見込み	☒ 目標達成見込みあり⇒【理由】 ☐ 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 支出基準を市長部局と申し合わせ、また案内の内容等を十分検討して支出しており、今後も適切に処理していくため、達成見込みはついている。
有効性評価	③成果の向上余地	☒ 向上余地がある ⇒【理由】 ☐ 向上余地がない ⇒【理由】 案内行事等への積極的な参加。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	☐ 他に手段がある（具体的な手段、事務事業） ☐ 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 ☐ 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 ☒ 他に手段がない ⇒【理由】 他に類似する事業がない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	☒ 削減余地がある ⇒【理由】 ☐ 削減余地がない ⇒【理由】 社会通念上、必要と思われる最小限度の支出で、儀礼的にも支払うべきと思われるが、より明確な支出基準の作成が必要。
	⑥人件費（延べ業務時間）の削減余地	☐ 削減余地がある ⇒【理由】 ☒ 削減余地がない ⇒【理由】 アウトソーシングにはなじまない事業であるため、削減の余地はない。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 公平・公正である ⇒【理由】 各種団体からの行事案内に対して、市長部局と調整を行い公平公正に出席ないし支出している。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	☐ 見直し余地がある ⇒【理由】 ☒ 役割分担は適正である ⇒【理由】 行政が担う業務であるため、移行できない。

3 評価結果の総括（CHECK）

支出基準の作成は行っていないが、市長部局との調整や内容の精査により適切に支出している。

4 今後の方向性（事務事業担当課案）（ACTION）

(1) 今後の事業の方向性（改革改善案）・・・複数選択可

☐ 廃止

☐ 休止

☐ 目的再設定

☐ 事業統廃合・連携

☐ 事業のやり方改善（有効性改善）

☐ 事業のやり方改善（効率性改善）

☐ 事業のやり方改善（公平性改善）

☒ 現状維持（従来通りで特に改革改善をしない）

(2) 改革・改善による期待成果

(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持		○	
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策